

9. 本時の展開

過程	主な学習活動	学習集団	子どものつまずきに応じた指導・援助
復習	「0.1をもとにする」考え方	全体	前時のまとめを確認させる
問題提示	1. (問題) 牛乳が0.6リットルあります。ケーキを作るのに0.2リットル使いました。残りは何リットルでしょう。	全体	0.6 - 0.2の立式だけでなく、引き算となる根拠まで、子どもたちの意見から確認させる。 ・「残りは何リットル」 ・「使いました」 ・「0.6」「0.2」
立式	聞いていること、分かっていることから、引きし算である根拠をはっきりさせて式を立てる。 (0.6 - 0.2) 小数の引き算		
課題化	2. 昨日との違いから、自分たちで課題を作る。 (課題) 小数の引き算、0.6 - 0.2の計算の仕方を見つけよう	全体	・机間指導では「0.1をもとにする」というところに目をつけている子がいたら、そこに をつけてやる。 ・何をもとにして考えて良いのか分からない児童に対して、既習事項を確認できる場所を作る。
問題追究	3. 答えの求め方を考える。 0.6は0.1が6つ分、0.2は0.1が2つ分。 (操作 ノートに書き込み 発表) 1. リットル図を使う 2. 数玉を使う 3. 数直線 4. 小数の仕組みを使う	個	・教室掲示 ・自分でアイテムを選んで操作できるように準備する ・アイテムをおいたテーブル リットル図、数玉、数直線、 小数の仕組み表 ・考えが浮かばない児童にはヒントテーブルでいっしょに操作をさせて自信をつけさせる。 ・書く時間を確保できるように、画用紙に書かせるか黒板に先に板書させる (補助簿を活用) ・意図的指名でつけ足しをしながら考えを深めていく
交流	4. 考えを出し合う 3人の発表を聞いた後、3人の「同じところはどこ」かを考える。 ・0.1をもとにして考える ・整数と同じようにできる	全体	交流では3人が発表した後、「同じところはどこだろう」という発問で 0.1をもとにすること 整数と同じように計算ができる ことを出させたい。
一般化	5. (まとめ) 小数の引き算は、たし算と同じように、0.1のいくつ分かを考えると、整数と同じように計算ができる。	全体	
一般化	6. 全員で1.2 - 0.7の計算を試みる	全体	・今日のまとめ「0.1をもとにすると」を使うとできることがわかるようにアドバイスをする。 ・1.2は0.1が12個 ・1は0.1が10個、これを前時までの中で子どもたちにわかるように指導が必要。
評価	7. 評価問題をやる。	個	
評価	8. 自己評価をする。 楽しくできたか 自分の考えを持ち発表できたか 感想... 友だちの意見から分かったことなど	個	